

# Musashino University 2023

学校法人 武蔵野大学

総合案内

武蔵野大学大学院

武蔵野大学

武蔵野大学高等学校

武蔵野大学中学校

武蔵野大学附属千代田高等学院

千代田国際中学校

武蔵野大学附属幼稚園

武蔵野大学附属慈光保育園

武蔵野大学附属有明こども園

学校法人武蔵野大学は  
2024年、創立100周年を迎えます。

響き合って、未来へ。



[マークに込めた想い]

異なる力を響き合わせることで課題解決をもたらす武蔵野大学の「響創力」を波形のラインの連なり、重なりで表現しています。大正15年発足の校友会「紫紅会」の名から「紫」と「紅」、緑豊かな武蔵野キャンパスの「緑」、臨海副都心の有明キャンパスを象徴する「青」をマークのカラーとしています。「紫紅会」の名は、彩り豊かな花が咲く様子を示す「千紫万紅」という言葉に由来します。花のような形に、新たな能力の開花への願いも込めています。

約一世紀にわたり、多くの生徒、学生、教員、職員、  
そして卒業生を含む学外からの協力者が、  
さまざまな境を越え、高め合い、笑い、涙し、響き合ってきた軌跡。  
それが学校法人武蔵野大学です。  
しかし、この道はまだ途中。  
世界は、幸せか。私たちが学問し、実践し、挑み続けてきたこの問いに、  
そうだと答えられる状況はまだ遠いのが現実です。  
これまで以上に、ひとりよがりを超え、異なる力を響き合わせて、  
世界の幸せをカタチにする未来へ向かうときです。  
100周年記念事業メッセージ「響き合って、未来へ。」には、  
そのような決意を込めています。  
想いはつながる。世界は変えられる。  
学校法人武蔵野大学の創立100周年は、  
もっと大きな理想を実現する第一歩です。

# 沿革

- 学校法人武蔵野大学の沿革
- 学校法人千代田女学園の沿革



**1888** (明治21年)  
鳥地黙雷師が東京都千代田区四番町に  
学校法人千代田女学園前身 女子文藝學舎創立



**1910** (明治43年)  
高等女学校令により  
千代田高等女学校へ改称

**1907** (明治40年)  
女子文芸学校へ改称

**1924** (大正13年)  
学祖高楠順次郎博士が  
東京都中央区築地に  
学校法人武蔵野大学前身  
武蔵野女子学院創立

**1927** (昭和2年)  
高等女学校設立

**1927** (昭和2年)  
財団法人千代田女学園設立  
千代田女子専門学校併設

**1929** (昭和4年)  
保谷村(現：西東京市新町、  
現在の武蔵野キャンパス)に移転

**1938** (昭和13年)  
財団法人武蔵野女子学院設立

**1943** (昭和18年)  
浄土真宗本願寺派の派立学校となる

**1944** (昭和19年)  
学祖高楠順次郎博士、第4回文化勲章受章

**1945** (昭和20年)  
姉妹校である千代田女子専門学校が戦災のため  
武蔵野キャンパスに移転

**1948** (昭和23年)  
新制高等学校設置

**1949** (昭和24年)  
千代田女子専門学校を  
財団法人武蔵野女子学院へ移譲

**1950** (昭和25年)  
武蔵野女子短期大学設立

**1951** (昭和26年)  
財団法人を学校法人武蔵野女子学院に組織変更

**1951** (昭和26年)  
学校法人千代田女学園設立

**1965** (昭和40年)  
武蔵野女子大学設立

**1967** (昭和42年)  
幼稚園閉園

**1988** (昭和63年)  
千代田女学園創立100周年



**1999** (平成11年)  
大学院設置

**2002** (平成14年)  
通信教育部開設

**2003** (平成15年)  
武蔵野女子大学、  
武蔵野大学へ名称変更

**2004** (平成16年)  
武蔵野大学、男女共学化

**2006** (平成18年)  
武蔵野女子大学短期大学部廃止

**2018** (平成30年)  
千代田女学園創立130周年

**2018** (平成30年)  
千代田女学園高等学校、男女共学化し、  
武蔵野大学附属千代田高等学院へ名称変更

**2019** (平成31年、令和元年)  
武蔵野女子学院中学校・高等学校、武蔵野大学中学校・高等学校  
へ名称変更  
武蔵野大学中学校、男女共学化



**2020** (令和2年)  
武蔵野大学附属有明こども園閉園  
武蔵野大学高等学校、男女共学化

**2022** (令和4年)  
千代田女学園中学校、男女共学化し、  
千代田国際中学校へ名称変更

**2024** (令和6年)  
学校法人武蔵野大学創立100周年

**2017** (平成29年)  
武蔵野大学附属慈光保育園閉園

**2016** (平成28年)  
学校法人武蔵野大学と法人合併

**2016** (平成28年)  
学校法人千代田女学園と法人合併

**2013** (平成25年)  
千代田女学園創立125周年

**2012** (平成24年)  
学校法人武蔵野女子学院、学校法人武蔵野大学へ名称変更  
江東区有明に有明キャンパス開設

## Contents

- 01 100周年ページ
- 03 沿革
- 05 武蔵野大学・大学院
- 17 武蔵野大学中学校・高等学校
- 19 武蔵野大学附属千代田高等学院
- 21 千代田国際中学校
- 23 武蔵野大学附属幼稚園 / 武蔵野大学附属慈光保育園

- 24 武蔵野大学附属有明こども園
- 25 法人組織図
- 26 進学・就職状況
- 27 園児・生徒・学生数
- 29 教職員数
- 30 学校法人武蔵野大学財務状況



# 武蔵野大学・大学院

https://www.musashino-u.ac.jp 有明キャンパス：〒135-8181 東京都江東区有明三丁目3番3号  
☎03-5530-7333(代) 武蔵野キャンパス：〒202-8585 東京都西東京市新町一丁目1番20号



有明キャンパス



武蔵野キャンパス

## 建学の精神

**仏教の根本精神である四弘誓願を基礎とする人格教育**  
学校法人武蔵野大学の建学の精神は、仏教の根本精神である四弘誓願(しぐぜいがん／ほとけのねがい)を基礎とする人格教育です。国際的仏教学者である学祖高楠順次郎博士は、「理想が高まるに従って人格が高まり、人格が高まるに従って高い理想が現出する」\*と述べ、仏教の開祖である釈尊(しゃくそん)を理想の人格として仰ぎ、私たちがその理想に向かって、人格向上の歩みを進めることこそ人生の意義であると説いています。したがって、学校法人武蔵野大学の教育の目標は四弘誓願を基礎として人格向上をはかり、人格向上の実現によって釈尊の理想を具現化することです。

\*高楠順次郎(1924)『生の実現としての仏教』大雄閣

学祖 **高楠 順次郎** 博士  
〔1866(慶応2)年～1945(昭和20)年〕

国際的仏教学者。「仏教精神を根幹とした人格育成」を理想に掲げ、武蔵野大学の母体である武蔵野女子学院を設立。女子教育の必要性と女性の社会進出を積極的に考えた先覚者でもある。1944年、文化勲章受章。



四弘誓願 (ほとけのねがい)  
生きとし生けるものが 幸せになるために  
(衆生無辺誓願度)  
むさぼり・いかり・おろかさ  
(煩惱無数誓願断)  
この世界 あるがままの真実に 学び  
(法門無尽誓願学)  
人格向上の道を とともに 歩みたい  
(仏道無上誓願成)

## ブランドステートメント(宣言)

### 世界の幸せをカタチにする。

Creating Peace & Happiness for the World

生きとし生けるものが 幸せになるために  
むさぼり・いかり・おろかさ  
に 流されず  
この世界 あるがままの真実に 学び  
人格向上の道を とともに 歩みたい

仏教の根本精神である「四弘誓願」の理念、すなわち、自己と他者は密接につながりあっているという前提のもとに、自らの幸せだけでなく他者の幸せをも真摯に希求するところに、目指すべき理想の世界がうち立てられていくという理念を具現化するために、ブランドステートメント「世界の幸せをカタチにする。」を宣言します。

武蔵野大学は、2024年の創立100周年を跳躍台とした、2050年の未来に向けて、本学に課せられた使命を果たしていく決意であり、ブランドステートメント「世界の幸せをカタチにする。」はその決意の表明です。

## ブランドビジョン

### 「響き合い、高め合うスパイラル」

#### 感性を磨き合う

感覚を研ぎ澄ませ、世界で起きていることを能動的に感じとる。想像力を最大限に発揮し、自他の境を超えていく。このように、課題を自分ごとにする「感性」が世界から求められています。私たちは、「感性」を磨き合う教育研究を実践します。

#### 知恵を開き合う

世界の幸せとは何か、課題の理解と解決には何をなすべきかを問う。不断の探究心をもって、固定観念を超えていく。このように、課題を多様な視点で捉える「知恵」が世界から求められています。私たちは、「知恵」を開き合う教育研究を実践します。

#### 響創力\*を高め合う

人々と連帯して課題を解決する。誠実さと行動力を持って、価値観や言語の境を超えていく。このように、異なる力を響き合わせて課題を解決する「響創力」が世界から求められています。私たちは、「響創力」を高め合う教育研究を実践します。

\*響創力：価値観や言語の異なる人々と響き合い、連帯して創造する力を表しています。「響」は、仏教の縁起観をもとにした言葉です



## 3つのポリシーとアセスメント・ポリシー

### ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

「**アクティブな知**」を獲得し、**創造的に思考・表現する力を備えて、世界の課題に立ち向かう。**

武蔵野大学は、仏教精神を根幹として学識、情操、品性ともにすぐれた人格を養い、一人ひとりの幸せ、世界の幸せに貢献する人材を育成します。

- 学びの基礎力を基盤とした専門能力
- 他者と自己を理解し、自発的に踏み出す力
- 課題を多角的に捉え、創造的に考える力
- 多様な人々のなかで、自らの考えを表現・発信する力

### カリキュラム・ポリシー(教育課程編成方針)

武蔵野大学のカリキュラムは、卒業生の一人ひとりが地球規模のつながりの中で生きる一個の人間として、どんな社会においても、またどんな状況・場面にあっても普遍的に求められるさまざまなスキルをすべての学部学生の基礎力として涵養・育成し、時代や国・地域を超えた貢献を適える人材を未来に向けて輩出することを目的とします。

この目的を実現するために体系化された初年次からの全学共通基礎課程「武蔵野 INITIAL」の学修により、その能力開発及び定着を徹底します。また、各学部における専門分野の知識と技能が身につけられるように段階的、体系的なカリキュラム編成を行い、それとの連続性をもって学士課程における目標を達成していきます。

### アセスメント・ポリシー(学修成果評価方針)

武蔵野大学では、内部質保証制度の一環として、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーの3ポリシーに基づいて、機関レベル(大学全体)、教育課程レベル(学部・学科・研究科等)、科目レベル(授業・科目)の3レベルで、学修成果等を測定・評価し、その結果を教育の改善につなげていきます。

### アドミッション・ポリシー

武蔵野大学は、教育基本法および学校教育法に準拠し、かつ、仏教精神を根幹として学識、情操、品性ともにすぐれた人格を養い、「アクティブな知」を備え、創造的に思考・表現することのできる人材を育成し、一人ひとりの幸せ、世界の幸せに貢献していきます。

武蔵野大学の建学の精神、基本目標を理解するとともに、本学の人材育成方針に共感し、教育課程に積極的に取り組む姿勢を持った者の入学を期待している。

入学者の受け入れは、以下に挙げる点に留意して実施する。

- 各学部・研究科の教育目的に相応しい人材を多面的に審査・評価する
- 基礎学力と専門教育に関する教科の理解度、並びに人物の適性等について審査・評価する
- 学力だけでは見出すことのできない能力や意欲、将来の可能性等を高校在学時の活動状況等から審査・評価する

学生には、以下の点を期待しています。

- 〈知識・専門性〉  
各学科の教育目的に相応しい知識を備えていること
- 〈関心・態度・人格〉  
他者と自己を理解し、自発的に踏み出す意思を持つ者
- 〈思考・判断〉  
課題を多角的にとらえ、創造的に考える意思を持つ者
- 〈実践的スキル・表現〉  
多様な人々のなかで、自らを考え表現・発信する意思を持つ者

## 学長挨拶

### 「世界の幸せをカタチにする。」大学へ

武蔵野大学は、2050年の未来に照準を合わせて大学の使命を果たしていきたいと考えています。2050年とは、今大学で学んでいる学生たちが50歳前後になり、社会の中核で活躍している時期。その未来に向かって、本学の掲げるブランドステートメント「世界の幸せをカタチにする。」を担い、世界が求める諸課題の解決に果敢にチャレンジしていくハビネス・クリエイターを輩出することが本学の使命です。その使命を達成するため、5つのチャレンジからなる「武蔵野大学2050 VISION」を掲げ、中長期計画を推進中です。

### 全学共通基礎課程

#### 「武蔵野 INITIAL」 & 「響学開発センター」スタート

本学の教育改革も着実に進んでいます。2021年度には、全学の共通基礎課程を刷新し、「武蔵野 INITIAL」がスタートしました。この課程には、2050年の未来を切り開いていくにふさわしい基礎的力、実践力を養うための、①文理を超えて「AI×専門」のデジタル人材を輩出していくためのサブメジャー情報科目群「AI活用エキスパート」、②SDGsの理念を学び、自



武蔵野大学 学長 西本 照真

ら問題意識を持って主体的に学ぶ姿勢と実践力を身に付ける「Creating Happiness Program (CHP)」, ③実際の社会を見て、体験し、自らの専門の学びの有用性を感じ、将来のキャリア選択のきっかけとしていく「フィールド・スタディーズ」などの科目群が含まれています。

また、2022年度には、本学独自の教育手法を開発し、教育支援をさらに充実させていくことを目的として「武蔵野大学響学開発センター」を開設しました。このセンターの活動を通じて、「響き合い、高め合う」本学の学修スタイル「響学スパイラル」(「問う→考動する→カタチにする→見つめ直す」)を学生一人ひとりが身に付け、主体的な学びが醸成されていくことを願っています。

#### 新学部・学科・大学院の開設と総合大学化の歩み

武蔵野大学では、この20年余りの間、学部、学科、大学院の開設を積極的に進めてきました。現在、12学部20学科13大学院研究科と通信教育部を擁し、学生数では13,000人を超える総合大学へと発展を遂げてきました。2019年には私立大学初のデータサイエンス学部、2021年には日本初のアントレプレナーシップ学部、2023年にはサステナビリティ学科、2024年にはウェルビーイング学部(予定)の開設など、時代や社会のニーズを先取りしたチャレンジングな学部・学科の設置を進めています。また、大学院においても、2021年にはデータサイエンス研究科修士課程、法学研究科ビジネス法務専攻博士後期課程、工学研究科数理工学専攻博士後期課程を開設、2022年にはデータサイエンス研究科博士後期課程を開設するなど、高度に専門的な知識や技術を修得するための教育研究も充実してきました。

#### 2024年の創立100周年を跳躍台に、 「響き合って、未来へ。」

いよいよ来年、2024年には100周年を迎えます。仏教の根本精神である四弘誓願を基礎とする人格教育を建学の精神として受け継ぎ、本学の発展を支えてこられた先人たちの願いを再確認しつつ、「響き合って、未来へ。」を合言葉に100周年記念事業に取り組み、次の100年に向かって力強いスタートを切りたいと考えています。

## フィールド・スタディーズ

本学では学外学修プログラム「フィールド・スタディーズ」(以下FS)を実施しています。1年次必修科目として、2,500名弱の1年生が国内外の各地を訪れ、自身の専門分野と社会とのつながりを体感する授業を展開しています。受け入れ先は海外の大学や現地企業から国内の地方自治体やNPO法人、一般企業と多岐にわたります。プログラムは海外・国内、中長期プログラム・短期プログラムがあり、国内についてはさらに宿泊型・通学型・オンライン型のプログラムに分かれ、学生が自分にあったプログラムを選択できるシステムになっています。

プログラムの内容は多彩で、2022年度は海外型2、国内型61と計63のプログラムが実施されています(新型コロナウイルスの影響により、一部対面型プログラムは中止もしくはオンライン実施となりました)。FSによって、学生は入学直後に自己と社会の相対を考察する機会が与えられ、そこで得た知識や経験を専門課程の学びへと活かすことができます。

学生は受け入れ先で学びの「きっかけ」を見出し、様々な経験をすることで、「気づき」とそこでしか得られない「繋がり」を獲得します。約83%の学生が新しいご縁や人とのつながりを作ることができたと回答しており、特に国内宿泊型プログラムに参加した学生の96%が「つながりを作れた」と回答しています。受け入れ先からも「学生ならではの自由な発想力や施策提案に大変刺激を受ける」など、高い評価をいただいています。

また、主に2年生以上を対象としたFSでは、SDGsの指標を実現するため、社会の課題に対して解決策を提示していく質

の伴ったプログラムを提供しており、「世界の幸せをカタチにする。」ハビネス・クリエイターを育成していく事を目的とした「発展FS」を展開しています。



白像の国(タイ)



福岡県大川市モノ作り魅力発信プロジェクト

## 産官学連携・研究推進センター

本学では、2019年4月1日から産官学連携・研究推進センター(センター長・上岡学副学長)を設置して、産官学連携活動の推進と科研費やその他の外部資金の導入強化を一元的に取り扱っています。すでに2018年秋には「武蔵野大学産官学連携ポリシー」を発表して公式WEBページを刷新していますが、2019年度からのデータサイエンス学部、経営学部、工学研究科、経営学研究科及びアントレプレナーシップ学部の開設に伴い、産業界との共同研究・受託研究等を多様な形態で積極的に推進し、新たな国際規模での外部資金の獲得も全学的に促進する体制を整えました。

研究所単位では、2021年4月よりアジアAI研究所が国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)との

共同研究を開始し、大学全体では、2020年6月には国内の大手自動車メーカーと、データサイエンティストの育成を図ることを目的として連携協定を締結し、2023年2月末現在の連携先は23件となっています。今後は、国または地方公共団体との研究・教育両面にわたる人材交流も視野に入れていきます。科研費の獲得についても、これまでの薬学部の実績に加えて、近年は、経済学部、人間科学部等で女性研究者の活躍が著しくなっています。さらに、若手研究者の支援体制も充実させています。本センターでは、今後も、「innovative」「creative」「win-winの関係ができる」という3基準を踏まえつつ、本学の研究水準の向上と社会貢献の増大を目指して、積極的に支援活動を展開する予定です。



国内企業との包括連携協定締結①



国内企業との包括連携協定締結②

### 武蔵野大学2050VISION

#### ①自己と世界を問う

世界の課題を中核に据え、SDGs 17の目標達成へ取り組む

#### ②未来の世界を創る Creative な実践者の輩出

思考を鍛えることを重視し、課題解決力の修得を目指す

#### ③AI世界を先導する MUSIC

従来の文系・理系の枠組みを超え、分野融合型のスマートインテリジェンスな人材を育成する

#### ④ Global & Universal

全学部全学科でグローバルな人材を育成  
今後は全学生の長期・短期の留学を促進

#### ⑤ MU-GEN(※)につながる Infinite Linking

卒業生と在学生の響創  
知をバージョンアップするリカレントの推進

※ MU-GEN = Musashino University GENerations

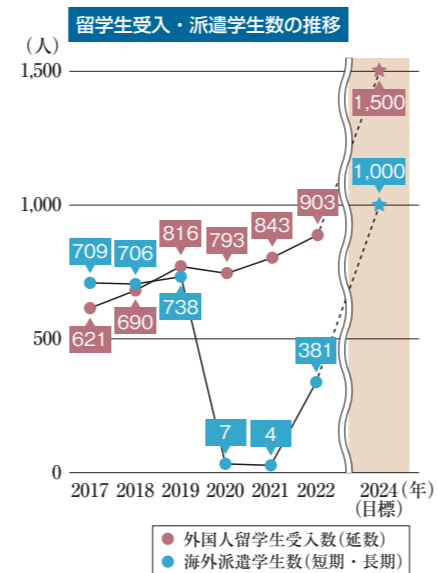
## 国際化ビジョン

### 「武蔵野大学国際化ビジョン100」を制定

本学では、創立100周年である2024年に向けて「武蔵野大学国際化ビジョン100」を制定。国際化ビジョンの実現のため、国際化の取り組みを加速させています。学生が将来グローバル人材として世界中で活躍できるように留学制度を充実させ、学内にいながら、多様な人・文化と触れ合えるグローバルキャンパスを実現していきます。2024年には留学生受入数1,500人、海外派遣学生数1,000人とする目標を掲げています。

#### 主な目標

- ビジョン1 教育内容の国際化と充実
- ビジョン2 研究環境の充実
- ビジョン3 外国人留学生の受入の拡大
- ビジョン4 学生の海外派遣の拡大
- ビジョン5 組織体制・ガバナンス強化



### 世界に通用するグローバル人材の育成

■世界を結ぶ武蔵野大学の協定校(2023年5月1日現在 26カ国・地域、106校)



### 海外留学制度

#### ●協定留学

本学の海外協定校に、1年間または半期間留学する制度です。単位認定と留学期間(1年以内)を本学の修業年限に算入することで、4年での卒業も可能です。

#### ●認定(SAP)留学

本学の許可を得て、海外の大学へ1年間または半期間留学する制度です。条件を満たせば、留学先の大学や期間などを自由に計画することができます。また、単位認定と留学期間を本学の修業年限に算入することで、4年での卒業も可能です。

### ●短期語学研修(渡航型・オンライン型プログラム)

#### ・短期語学研修(渡航型プログラム)

本学が協定を結んでいる協定校等への短期留学です。夏季・春季休暇中の2~5週間現地に滞在し、語学研修を行います。語学だけでなく現地ならではの異文化体験も魅力です。また、研修終了後は「海外語学研修」の単位が認定されます。

#### ・短期語学研修(オンライン型プログラム)

渡航型プログラムと同様、本学の協定校等が実施するプログラムに参加します。夏季・春季休暇中の1~5週間で、インターネット環境を使い、自宅にいながら海外の語学研修を受講できます。また、研修終了後は「オンライン語学研修」の単位が認定されます。

### International Lectures

International Lecturesは、海外協定校等から専門家を招聘し、学科の専門性に特化した海外の大学の学部授業を受講できる機

会を提供する科目です。この取り組みを契機として、国際社会がますます身近なものとなり、学生が主体的に自らの専門を学び、世界の課題を発見し、解決していく力を養います。



### 武蔵野大学日本研修(MJSP)

協定校学生向けの日本語・日本文化研修として、武蔵野大学日本研修/Musashino Japanese Studies Program (MJSP)を開催しています。参加者は、実践的なレベル別の日本語学習に加え

て、茶道などの文化体験、本学学生との交流会などを通し、日本文化への理解を深めていきます。2015年度から始まり、海外協定校・交流校から毎年多くの参加者を迎えています。2023年度夏季は対面での実施を予定しています。



## 教育方針・養成する人材像

### 大学

文学部	日本文学文化学科	日本語や日本文学、日本文化についての学びを通して、幅広く体系的な知識と深い専門的な知見、豊かな感性と確かな論理的思考力を身につけ、読解力・表現力・創造力・批評力を磨きます。そして、それらを自己の総合的な力として用いることができ、ことばによって世界と関わり、過去の文化的遺産の理解・継承と新しい文化の創造に寄与することができる人を育成します。
	グローバルコミュニケーション学科	グローバル化の時代にふさわしい文化的・社会的に活躍できる人材を養成します。複数の外国語の運用能力と異文化コミュニケーションに関わる知識を修得し、異文化を背景に持つ人々との協働作業を通して、グローバルな教養や異文化理解能力、異文化適応能力を身につけます。仏教精神に見られるような他者への寛容な態度に基づく、異文化コミュニケーションの視点を学び、これからの時代に欠かせない柔軟な思考や態度の育成を目指しています。
グローバル学部	日本語コミュニケーション学科	社会に必要なコミュニケーションのための日本語とは何かをアカデミックに探究し、自らその力を身につけて、日本語でのコミュニケーションを必要とする学習者・生活者の支援や場の運営に活用できるスペシャリスト、ビジネスで運用できる人材を養成します。学部共通理念のトライリンガル(日本語+英語+中国語または母語)育成を目指すと共に、「日本語教員養成課程」では日本語教育関連科目を専門的に学び、「観光」を通して国内外の交流の促進が社会・経済に与えるインパクトについての理解も深めます。多文化・多言語共修環境の中で、日本語母語の学生と留学生各々がグローバルな視点で考える姿勢を養います。
	グローバルビジネス学科	グローバルな視点から経営学を体系的に理解し、組織における経営資源の創造的かつ効率的マネジメント手法を学ぶことで、グローバル化が進むビジネス社会で活躍できる人材を養成します。また、広く深い教養知識と、英語と中国語(留学生は日本語)の高い運用力も併せて修得することにより、国内外の多様な価値観を理解・尊重しながら、実社会に役立つ戦略的問題解決策を立案・実行できる能力を身につけます。
法学部	法律学科	社会の安全を維持し、個人の自由な活動を保障する「ルール」である法律についての専門知識を修得し、自らルールの必要性を考え、最適なルールを創り、使いこなせることを教育の目標としています。柔軟な発想力・創造力・実行力と高い倫理観を併せ持ち、日常生活・個人・社会におけるあらゆる段階と相互関係のなかで、「共生」と「社会の持続性」という視点から、現代社会における課題に適切に対応し、所属する集団の構成員に幸福をもたらすルール創りができる人材を養成します。
	政治学科	「統治者の学」として生まれ発達してきた政治学の知の体系を「市民の学」として再構成し、教育・研究することを課題とします。「市民」(=主権の担い手)として人類共同体に貢献し、市民政治学の精神をもって多くの人びとの幸福を作り出す職務に携わる人材の養成を目標とします。さらにグローバル化社会に対応できるよう、4学期制を活用した留学プログラムを設定し、国際人の養成にも取り組んでいます。
経済学部	経済学科	現代社会における様々な経済現象を、理論的・統計的・歴史的に分析・理解することを通して、急速な勢いでグローバル化の進む世界に対する深い洞察力・正確な判断力を養うことを目標としています。経済学の基礎的な知識を十分に吸収し、多岐にわたる経済学の諸分野に積極的に取り組む意欲を育みます。建学の精神を基に高い倫理観を持って国際社会で活躍し、より良い社会の実現に貢献できる人材を養成します。

経営学部	経営学科	経営学を中心とした社会科学の知識と技能を活用して自己の願いや世界の幸せの実現に向けて挑戦でき、自ら学び続ける意欲と力を持った人材を養成します。具体的には、経営学を中心とした社会科学の専門的な知識や技能ならびに幅広い教養を修め、立派な職業人たりえる人格を目指し、自ら学び続ける意欲と力、自発性、課題解決に向けた情報収集・論理的分析・創造的思考に関わる能力、他者との意思疎通力と自他の意思や価値観を尊重しながら自らの役割を見つけて貢献する力を修得します。
	会計ガバナンス学科	会計学を軸に多様な組織の会計や組織を活かすための理論を学び、会計を取り巻く今日的課題に対応できる即戦力を養成します。取り組むべき社会的課題を自ら発見し、状況の改善や危機管理に活かすことのできる人材を養成します。会計数字の背景を読み取る力や、会計情報を経営に活用する手法を学ぶことで、経営を理解できる会計のスペシャリストを目指します。
アントレプレナーシップ学部	アントレプレナーシップ学科	変革期を機会と捉え、社会に対して傍観者でとどまることなく高い倫理観と志を抱いて自ら課題を設定、事業構想し自立自走することで「ことを成す」実践的な能力を修得します。そして、起業家精神(アントレプレナーシップ)をもって、新たな価値を創造できる実践的な能力を身につけた人材を育成します。
データサイエンス学部	データサイエンス学科	データサイエンスおよび人工知能分野に関する専門知識と技能を習得し、現実社会の様々な分野にわたる課題を創造的に解決する力を育みます。具体的には、現実社会の様々な分野を対象として、データから有益な知識を蓄積・分析・発見・統合するスキルと価値創造の実践知を修得し、対局的・深層的な構想力を活かし、未来社会を創造できる人材を養成します。
人間科学部	人間科学科	現代社会において人間が直面する諸問題に対して、人間尊重の立場から分析し的確に解決していける、総合的な人間力を備えた人材を育成します。心理学・生命科学・社会学・哲学・倫理学などの人間科学の諸知識を修得し、様々な問題を自ら積極的・継続的に解決しようとする「主体性」、情報を適切に収集・分析し科学的・論理的に考える「情報分析力・思考力」、自分の考えを明確かつ論理的にまとめ他者にわかりやすく伝えられる「表現力」、人間を総合的・全人的に捉える「人間理解力」を身につけます。
	社会福祉学科	様々な課題を地域や社会、制度等の課題と関わらせて捉え、多様な価値を有する一人ひとりを大切にし、それぞれの自己実現を支えあえる多文化共生社会を実現しようとする人材の養成を行います。そのために社会福祉の制度・実践・理念、及びソーシャルワークの専門的価値や倫理・知識・技能、ミクロ・メゾ・マクロレベルといった重層的かつ包括的な学びを通して、人が人に関わることでしか実現できない社会変革の担い手の養成を目指します。
工学部	サステナビリティ学科	気候変動、生物多様性、環境汚染などの環境問題と、貧困や飢餓、衛生、福祉などの社会問題が複雑に絡みあっているなか、分野横断的に全体を俯瞰し、問題や関連要素のつながりを理解し、統合的アプローチにより解決を図る人材が必要になっています。こうした社会的要請に応え、社会の仕組みや新規事業を生み出すソーシャルデザインと環境の調査・分析・設計を行う環境エンジニアリングに関する知識・技術を学び、これらを統合して、課題解決ができる実践的な能力を習得し、サステナブルな世界の実現に貢献できる人材を養成します。
	数理工学科	幅広い視野をもち、未知の問題に取り組むことのできる柔軟な思考を養うとともに、数理工学的手法を修得します。この課程を通じて、持続可能な社会構築に向けて主体的に参画する人材、例えば自然現象や社会現象をモデル化して理解し、システム設計に応用することができる人材、ネットワーク形成に代数的な考え方を実践できる人材、データから問題の本質を捉えた上で課題解決できる人材を養成します。
	建築デザイン学科	人間と環境に対する深い理解と尊重に基づいて、建築により未来を構想できる能力を修得させます。この課程を通じて、建築学における豊かな教養を基盤に、自ら気づき、社会とつながり、次代を切り拓く想像力、提案力、行動力のある人材を養成します。

教育学部	教育学科	児童・生徒の好奇心を育み、豊かな教養・人間性と高いコミュニケーション力を持った初等・中等教育のスペシャリストを育成します。初等、国語、英語、理科の4コースに分かれ、それぞれの専門分野の教科教育を研究し、小学校教諭免許、中学校教諭免許(国語・英語・理科)、高等学校教諭免許(国語・書道・英語・理科)が取得できるカリキュラムを設けています。児童・生徒の成長を長いスパンで見通すことで、知識や技術を教授するだけではない、広い視野を兼ね備え、社会の持つ問題を理解し、教育に貢献する人材を養成することを目指します。
	幼児教育学科	大きく変化し多様化する環境の中で生きていく子ども達について真摯に考え取り組む、専門性の高い幼児教育者・保育者を育成します。子ども達の発達、幼児教育・保育、家庭、社会等の課題について多面的に理解を深めます。また、主体的に取り組む態度と知識、そして幼児教育・保育の実践に繋がる専門的能力を修得します。乳幼児期から児童期・青年期に至る発達全体を見通し、人間存在への理解を深め、広い視野と豊かな人間性を備えた幼児教育・保育の専門家を養成します。
薬学部	薬学科	医療人としての広い教養、確かな知識・技術や、コミュニケーション力・プレゼンテーション力、研究能力だけでなく、高い倫理観と使命感や慈悲の心、豊かな創造力、科学的知見に基づき問題点を発見・解決できる能力を修得します。そして、最新の医療技術・医療の高度化に積極的に対応でき、地域社会において保健・医療・福祉に貢献できる人材や多様な薬学関連分野で活躍できる人材を養成します。
看護学部	看護学科	豊かな人間性と倫理観、専門的知識・技術に基づき倫理的判断力と科学的思考を支えられた実践能力、ケア環境とチーム体制の整備能力を修得します。そして、看護学に求められる社会的使命を遂行できる人材、自己研鑽を継続し看護実践を改革しうる人材、保健・医療・福祉にかかわる課題と看護の機能と役割をふまえ国際社会でも活躍できる、慈悲の心をもった心のケアのできる質の高い人材を養成します。

## 大学院

文学研究科	日本文学専攻 [修士課程]	日本文学・日本文化に関する専門的な知識を身につけ、多様なテキストを読解して分析する力と表現力を育みます。そして、教育現場や図書館、美術館や劇場、出版や映像などの分野で、国語や書道、日本語や日本文学、日本文化を継承できる人材を養成します。
	日本文学専攻 [博士後期課程]	日本文学・日本文化に関する高度かつ専門的な学識と幅広い教育研究能力を育みます。そして、上代から現代までの各専門領域における文献的な諸問題や思想的な課題に取り組み、日本文学と日本文化の研究と創造と発展に寄与できる人材を養成します。
言語文化研究科	言語文化専攻 [修士課程] ◎言語文化コース ◎ビジネス日本語コース	言語文化に関する総合的体系的学識、そして言語を媒介にした様々な文化的社会的事象を学際的に比較分析する能力を養成します。言語文化コースでは、高度な異文化コミュニケーション能力や、日本語と日本語教育に関する高度な専門知識と教育実践力、日中翻訳・通訳能力を、またビジネス日本語コースでは、実践的かつ高度な日本語によるビジネス・コミュニケーション能力や、日本の企業文化ビジネス文化に関する知識を修得し、問題発見解決能力を養成します。
	言語文化専攻 [博士後期課程]	日本語学、日本語教育学、応用言語学、異文化コミュニケーション学、比較文化学など、様々な領域の学問に関する高度な専門知識を持ち、理論に基づいて学際的な研究を進めていける人材の養成を目指します。 グローバル化が進展する現代社会においては、異文化を背景に持つ人々とのコミュニケーションの重要性が高まっています。 このような現状をふまえ、研究能力とともに、異文化コミュニケーション研究、第二言語習得研究、比較文化研究などの知見に基づく教育実践ができる能力を併せ持ち、グローバルに活躍できる研究者を養成します。

法学研究科	ビジネス法務専攻 [修士課程]	法律学とその社会での実践について、高度な専門知識とともに、社会の持続可能性に配慮するリーガル・マインド、新たな制度設計やルール提示ができる法知識と能力、実務上の紛争への適切な解決・予防能力を修得します。また、法的観点から取引社会の現状分析と課題抽出ができ、ビジネス法務分野で新たな制度設計やルールの提示ができ、そしてルールの提示や紛争解決策の提案において、特定当事者の利益に偏らず、社会の持続可能性と共生の考え方を実現しようとする努力できる人材を養成します。2020年度からは、起業を目指す人材の育成も強化し、科目等履修生のリスクリテラシー教育にも力を入れています。
	ビジネス法務専攻 [博士後期課程]	修士課程での「新しいルールやスキームを開発・創造するビジネス法務」教育を発展させ、ビジネス法務の理論レベルを高められる、実務に通じた研究者の養成に加えて、ビジネス法務経験を基礎とした、最先端の予防法務・戦略法務を指導でき、起業ビジネスの支援ができる実務家教員を養成します(2019年度から文部科学省「持続的な産学共同人材育成共同事業」における「実務家教員 COE プロジェクト」連携校に採択され、毎年成果を書籍で発表しています)。
政治経済学研究科	政治経済学専攻 [修士課程]	政治学コースと経済学コースを設置して、共通科目とともに、政治学および経済学のそれぞれについて学問的発展を反映した修士課程レベルの専門的な教育を行い、シティズンシップ・マインドをもって市民社会・国際社会の発展に寄与する専門家や実務家を養成します。
	政治経済学専攻 [博士後期課程]	政治学または経済学の高度な専門的知識を修得します。そして、それを基礎として、世界で生じている政治・経済の諸課題に取り組み、新たな解決策を提示できる人材を養成します。
経営学研究科	会計学専攻 [修士課程]	会計学や経営学を中心とした専門的な知識と、技能や現場での問題解決能力を修得します。また、組織人としてばかりでなく個人としても課題解決策の提示、会計マインドをもった企業経営の現状分析、そして会計基準・税法等の制度変更にも備えた企業経営の制度設計・戦略提言ができる人材を養成します。
データサイエンス研究科	データサイエンス専攻 [修士課程]	データサイエンスおよび人工知能分野の先端技術と技能を修得し、社会科学における多角的な活用を先導する力を育みます。具体的には、“急速な技術と社会の革新”、“グローバルかつ複雑な社会問題”、“広域あるいは地域的な環境問題”等多くの課題に対し、また、夢のある創造的社会、独創的技術の実現に向けて、優れた研究成果と新たな社会的価値を発信し、国際的な大学・研究機関との連携を通じて、最先端のデータサイエンス研究を実現し、国際的なリーダーとなる人材を養成します。
	データサイエンス専攻 [博士後期課程]	データサイエンスの高度な知識と技能を基礎とし、データサイエンス及び人工知能の先端技術を探究し、それらを広く応用するための分野横断型研究を行い、国際的な大学・研究機関との連携を伴った最先端のデータサイエンス教育研究を実現し、以下のようなこの分野でのリーダー、プロフェッショナルとなる人材を育成します。(i) 国際的な大学・研究機関等で最先端のデータサイエンス・人工知能研究を先導する研究プロフェッショナル、(ii) 産業界において国際的なイノベーションを実現するデータサイエンス経営・開発プロフェッショナル



人間社会研究科	人間学専攻 〔修士課程〕 ◎人間行動学コース ◎臨床心理学コース ◎言語聴覚コース	人間に関する高度な専門的知識と優れた人間理解力、そして人間が直面する様々な課題を深く分析し、主体的に解決できる高度な実践力を修得します。また、コースごとに社会心理学や認知神経学、臨床心理学、言語聴覚障害学の高度な知識、技術、態度を習得した専門家を養成します。
	人間学専攻 〔博士後期課程〕	人間の精神・心理、生理機能、社会行動を総合的に考察できる豊かな学識を修得します。その上で、それぞれの専門分野において、国際的視点から高度な知見を追求し、研究を実施・発展させていく能力を備えた研究者を養成します。
	実践福祉学専攻 〔修士課程〕	高度な専門知識の修得と実践知の理論化により、「人」と「社会」に対する深い洞察に基づく専門的倫理性を持ち、社会福祉の現場で必要とされる最新の各種援助技能等を習得し、指導・管理能力に秀でた社会福祉専門職業人を養成することを目的とします。社会構造の劇的な変化や不安定化に伴い複雑化する福祉問題に対して、その多様化・複雑化する問題を理論的に分析する力、実践現場と当事者支援に立脚した解決方法を導き出す各種援助技能の理論的知識の習得とその内面化、さらに次世代の社会福祉組織における管理・指導についても最新の理論を習得しその実践を図ることができる力を涵養し、当該分野における現代的ニーズに応える、研究力を兼ね備えた専門性の高いソーシャルワーカーを育成します。

仏教学研究科	仏教学専攻 〔修士課程〕	建学の仏教精神に基づいて人間尊重の立場に立った研究活動を行い、仏教思想や仏教文化に関する総合的・体系的な学識と研究能力を修得します。そして、宗教関連、教育関連、メディア関連、社会福祉関連などの諸分野において仏教精神に依拠した高度な専門性を発揮しながら、自立した職業人もしくは研究者として活躍する人材を養成します。
	仏教学専攻 〔博士後期課程〕	建学の仏教精神に基づいて人間尊重の立場に立った研究活動を行い、仏教学や自己の専門分野に関する豊かな学識と、自立した研究者として研究を継続・発展させていく研究能力とを修得します。

工学研究科	数理工学専攻 〔修士課程〕	モデル構築と解析を2つの柱とする数理工学の専門能力を修得します。この課程を通じて、工学の諸問題のみならず、自然現象及び社会現象に対してその本質を見抜き、理解し、問題解決に役立てることができる高度専門職業人および研究者を養成します。
	数理工学専攻 〔博士後期課程〕	数理モデルの構築とその解析を柱とする数理工学の高度な専門能力を修得します。この課程を通じて、工学の諸問題のみならず自然現象、社会現象における現実課題に対して独創的かつ自立した研究を行うことで、産業の発展、技術革新及び持続可能な社会の構築に貢献する研究者を養成します。
	建築デザイン専攻 〔修士課程〕	建築学の体系的な知を基盤に、建築デザインの創発的な実践力を修得します。この課程を通じて、人間が構築する環境の諸課題に取り組み、人間社会の発展を支え未来を切り拓く、構想力と実行力を備えた高度専門職業人および研究者を養成します。

環境学研究科	環境マネジメント専攻 〔修士課程〕	持続可能な社会に向かうための中長期的社会変革ビジョンをもち、環境経営及びエコプロダクツの推進者又は専門家として、環境システムの高度な知識と能力を発揮して企業及び地域の低炭素化や循環システム、自然との共生の実現に貢献できる人材を養成します。
	環境システム専攻 〔博士後期課程〕	持続可能な社会に向かうための中長期的社会変革ビジョンと高い倫理観をもち、環境マネジメントやエコプロダクツに関わる環境システムや社会システムの高度な知識と能力を発揮して、企業や地域、大学等において、地球規模から国や家庭に至るまでの幅広い持続可能な社会の構築実現に貢献できる人材を養成します。

教育学研究科	教育学専攻 〔修士課程〕	教育学に関する高度な理論的研究と実践的研究、即ち高度な方法論等の実践的研究とその背景となる理論的研究に関する学識を深め、幼児教育・初等教育・中等教育における最新の研究成果を通して、教育学研究の本質を探究するとともに、直面する現代的教育課題の解決に寄与できる人材を養成します。
--------	-----------------	---

薬科学研究科	薬科学専攻 〔修士課程〕	創薬、生命科学等幅広い分野における広く深い知識と探求力、各研究分野における研究手法や実務能力、さらに自らの課題を分析・検証する能力を修得します。そして、薬科学研究者又は薬科学の進展に寄与することができる人材を養成します。
--------	-----------------	--

薬科学専攻 〔博士後期課程〕	高度薬科学研究者養成コースでは創薬、医療、生命科学等幅広い分野で広く深い知識と探求力を、高度実務薬科学研究者養成コースでは先進的な薬物療法や最新の医薬品情報等に関する知識を修得し、高度薬科学研究者又は臨床現場等で活躍できる高度実務薬科学研究者を養成します。
-------------------	--

看護学研究科	看護学専攻 〔修士課程〕	高度専門職業人として必要な専門性の高い看護実践能力や教育研究能力を修得します。そして、教育・研究者として看護ケアの実践の本質を見極めることができ、看護ケアを中心とした学問として体系化できる人材を養成します。
--------	-----------------	---

看護学専攻 〔博士後期課程〕	看護学の幅広い分野で広く深い知識と探究力を修得し、倫理観や資質を修得した看護学研究者又は高度実践看護職を養成します。
-------------------	--

## 通信教育部

学部	人間科学部	人間科学科	心理学、仏教学、社会福祉学の専門的知識や、現代社会や現代人が抱える心の問題をこれらの学問の側面から考える能力を修得します。そして、人間の心の本質を探究し、総合的視野で深く人間を理解できる人材を養成します。
	教育学部	教育学科	小学校教諭免許状又は中学校・高等学校教諭免許状の取得を前提として、自己の目指す資格・免許の取得に必要な知識と技術、学識・情操・品性の優れた人格、教育に対する幅広い視野、教諭にふさわしい汎用的能力を修得します。そして、児童期あるいは青年期の子どもの発達を特に深く理解するとともに、児童期から青年期までの子どもの発達全体の見通しを持てる人材を養成します。

大学院	人間社会研究科	人間学専攻 〔修士課程〕	心理学、仏教学、社会福祉学のより高度な専門的知識、さらに現代社会において人間が直面する社会的諸課題、心や身体の諸問題を深く分析できる優れた人間理解力を修得します。そしてそれら諸課題の解決に向けて、仏教的人間観や死生観に基づいて深く考究できる人材、根源的な人間理解に立脚しつつ人間関係の修復や新たな構築を図ることのできる人材を養成します。
		実践福祉学専攻 〔修士課程〕	高度な専門知識の修得と実践知の理論化により、「人」と「社会」に対する深い洞察に基づく専門的倫理性を持ち、社会福祉の現場で必要とされる最新の各種援助技能等を習得し、指導・管理能力に秀でた社会福祉専門職業人を養成することを目的とします。社会構造の劇的な変化や不安定化に伴い複雑化する福祉問題に対して、その多様化・複雑化する問題を理論的に分析する力、実践現場と当事者支援に立脚した解決方法を導き出す各種援助技能の理論的知識の修得とその内面化、さらに次世代の社会福祉組織における管理・指導についても最新の理論を修得しその実践を図ることができる力を涵養し、当該分野における現代的ニーズに応える、研究力を兼ね備えた専門性の高いソーシャルワーカーを育成します。

仏教学研究科	仏教学専攻 〔修士課程〕	仏教精神に則り学術の理論及び応用する能力、仏教についての専門的知識、人間と社会環境に関して幅広く理解できる能力を修得します。そして、仏教の人間観・死生観に基づいて社会の様々な課題を解決できる人材、及び人間の精神、思考の根源の上に立って人間関係の新しい構築や修復を図れる人材を養成します。
--------	-----------------	---

環境学研究科	環境マネジメント専攻 〔修士課程〕	企業社会・地域社会における環境課題を発見し、専門的かつ具体的な改善策を立案し、企画提案や改善提案を行い、実践することができる等、持続可能な社会に向かうための中長期的社会変革ビジョンを持ち、環境経営及びエコプロダクツの推進者または専門家として、環境システムの高度な知識と能力を発揮して企業及び地域の低炭素化や循環システム、自然との共生の実現に貢献できる人材を養成します。
--------	----------------------	--



# 武蔵野大学中学校・高等学校

https://www.musashino-u.ed.jp

〒202-8585 東京都西東京市新町一丁目1番20号

☎042-468-3256



## 建学の精神

仏教精神にもとづく、  
真の人間教育、人間成就の教育

## 教育目標

いかなる生徒を育成するか

1. 「明るい知性と豊かな情操」とをかねそなえた「聡明にして実行力のある人間」の育成。
2. 「人の幸せを願う心」、「自己中心、自己絶対視を改める心」、「正しい判断力」、「良き社会人として通用する自立心」の育成。

## 教育方針

人格形成のための六つの徳目



## 学校長挨拶

これからの時代にこそ「想像力」を

現代は、不確実で、ちょっと先の未来さえも予想することが難しいと言われていています。急激に進歩する技術の渦の中、もしかしたら、私たち「人」が追いついていけなくなっているのかもしれない。あまりにも多くの情報が流入すると、私たちはそれを処理することばかりに追い立てられ、ゆっくりと考え選択したり、組み合わせる工夫をしたりする余裕もなくしてしまっているようにも感じます。

こんな時代だからこそ、想像の力が重要になると考えます。想像という漢字をよく見てみると、相手を思う心を形にしていくと読み取ることもできます。現状に嘆いたり愚痴を言ったりする時間があれば、周りを巻き込んで、より良い未来を想像していく。自分のことよりも、社会や世界に対し役立つ大きなビジョンを想像し、それに向かって邁進していくといったことが教育現場においても求められています。

本校は、昨年度より新たな取り組みをスタートさせています。高等学校においては、3つのコースの色をより鮮やかに彩るように、明確な目標とそれに向けた計画が設定され、進路実現に向けた強化を行っています。中学校も中高一貫校としての3年間の学びの見直しを行っています。全体を通じて「人格の向上は成績の向上である」の方針のもと、一層の学びの質を高めるとともに、学校全体の熱量をあげていくことで、100周年に向けて歩みのスピードをあげていきます。



武蔵野大学中学校・高等学校 校長 中村 好孝

## 武蔵野大学中学校の特徴

### 中学の Global & Science

中学校は「グローバル&サイエンス」をテーマとした教育を実践します。これは単に「英語と科学」を強化するという意味ではありません。変化の激しい時代に対応して、『世界に貢献で

きる人材の育成』、『論理的・科学的思考力を養い、社会の課題を解決しようとする人材の育成』、この2つを目指します。



## 武蔵野大学高等学校の特徴

### 合言葉は「チャレンジ」

好きなことや夢中になっていることは、どんどん吸収していくものです。一度やる気を出した生徒は、大人の想像をはるかに超える能力を発揮します。子どもの頃に夢になったあのワクワクする感覚を大切に授業を展開し、生徒一人ひとりが積極的

に自ら学ぶ、それが私たちの目指す教育です。本校では、社会課題を解決し、世界に貢献できる方法と力を身につけるために、ハイグレード、PBL インターナショナル、本科の3つのコースを用意しています。全てに共通するテーマは「チャレンジ」です。



## 特徴的な取り組み

### 1. 言語活動・PBL (中学)

言語活動では、ノートテイキングやプレゼン能力など教科の枠を超えた学びの基礎となるアカデミックスキルを養います。ここで習得したスキルを様々な授業で活用し学びを深めます。PBLでは学年テーマに沿ったプロジェクトに取り組みます。様々なことに挑戦していく過程で、失敗からフィードバックを経て、トライアル&エラーのサイクルを構築します。「WHY=なぜ」を大切に、主体的に課題発見・解決する力を養います。

### 2. LAM・MAP (高校)

本校教員と専門企業がタイアップしたりベラルアーツ授業を実施。WEBデザイン、ロボット工学、哲学対話、ボイスパーカッション、社交ダンス、外国語(韓国語)などホンモノの技術や深い考え方に触れ学びの原動力につなげていきます。MAPでは、LAMで磨いた非認知スキルを武器に理想の進路実現をめざします。HGコースはアカデミックマインド、PBLコースはアントレプレナーシップ、本科は自己ブランディングを主軸に視野を拡大し、自己の可能性を広げていきます。



# 武蔵野大学附属千代田高等学院

https://chiyoda.ed.jp/chiyoda\_high/ 〒102-0081 東京都千代田区四番町 11 番地  
☎ 03-3263-6551 (代)



## 建学の精神

- 知** 観知をふかく貯えて、強く正しく人の世を生きぬきます。
- 情** 温情をゆたかにして、やさしくなごやかに人の世を生きぬきます。
- 実** 真実を求めて、落ち着いて誠実に人の世を生きぬきます。
- 健康** 健康に留意して、明るく楽しく人の世を生きぬきます。
- 謙虚** たかぶりや独善を避けて、偉大な教えを仰ぎながら謙虚に人の世を生きぬきます。

## 教育方針

### 「Challenge Change Contribute」

- Challenge**  
失敗を恐れずに挑戦し続ける姿勢を応援します。挑戦し、フィードバックをたくさんもらうことで、人は成長していきます。正解のない時代だからこそ、小さなチャレンジを続けることが重要だと考えます。
- Change**  
変化に対して、常に柔軟で、前向きであってほしいと考えます。現在、世の中はものすごいスピードで変化しています。そのような中、しっかりと自分の軸(Who you are.)を持ちながら、それを中心に柔軟にピボットできる生徒を育てたいと思います。
- Contribute**  
常に「なんのために？」を考え、目的意識を持った行動ができるように支援します。小さなことでもいいので、自分の身の回りの社会に対して貢献する意識を持ち、自分の人生にオーナーシップを持てるよう、指導しています。

## 校長挨拶

### 原点回帰と Society5.0 に向けて

武蔵野大学附属千代田高等学院は、この数年、大きなチャレンジを繰り返してきました。その一つとして、国際バカロレア認定校(IB World School)などを基軸とした、学習者中心主義に基づく、探究学習の願布に努めてきました。ただ、これは手段の一つでしかありません。最も大切なことは、「手段」として学んだことを、いかに自分の身近な人の問題解決につなげることができるか。それこそが、本校に課せられた使命だと感じております。

本校は、今後5年にわたりさらなる飛躍をめざし、動き出します。特に国際バカロレアでも謳われていますが、「自己認識」「他者理解」「配慮と貢献」という文脈において、どうしても「利己」的になりがちな現代社会、メタ認知の側面より高い視座から、「自らが何をすることで世界に貢献できるのか？」を少しずつ考える機会を作り続けていきます。また、そのためには「真なるリベラルアーツ」を身につけることが大切であると思っております。具体的には、リベラルアーツ=教養教育、と日本では間違った認識でいることが多いのですが、本来は「自由を獲得するための技術」です。「常識」という「思い込み」や「レッテル」を乗り越え、他者を批判することなく相互理解を進め、お互いにフィードバックをし続ける社会・学校をめざします。それはまさに学祖 島地黙雷がめざした学校ではないか、と考えております。グローバル化の時代だからこそ「お互い様」「お蔭様」の精神をその基軸に据え、生徒・保護者・教職員が一体となり、変化の大きい時代に柔軟に対応していこうと考えております。



武蔵野大学附属千代田高等学院 校長 木村 健太

## 武蔵野大学附属千代田高等学院の学び

### コース一覧

	1 年生	2・3 年生	進路イメージ
選抜探究コース		IB 系	海外大学 国内難関大学 等
		グローバル探究系	難関国公立大 私立大(文系) 等
		医進探究系	難関国公立大 私立大(理系) 等
附属進学コース		文系	武蔵野大学 他大学(文系) 等
		理系	武蔵野大学 他大学(理系) 等

\* 1 年生は共通カリキュラム  
\* 2 年生から志望内容に合わせて系を選択



## ICT 教育について

武蔵野大学のキャンパスとつながる、無線 LAN の環境を整備。ICT を積極的に活用することで、アクティブな(主体的な)学びをより進化させた、アダプティブな(個別に対応した)学びをめざしています。

### ● ARC (アカデミック・リソースセンター)

ICT 環境と図書館の機能を統合したアカデミック・リソースセンター(通称 ARC)には、自習スペース、協働学習に適した学習スペース、談笑もできるカフェスペースがあります。放課後の ARC には、生徒たちが多数集まり、自主的に学習を進めています。



### ● BYOD (Bring Your Own Device)

BYOD を導入し、生徒全員がデバイスを持ち、授業や家庭学習に活用しています。研究レポートの作成をはじめとして、授業や学校行事などで仲間と作業分担をしながら活動を行うなど、様々な場面でデバイスを活用しています。



### ● プラットフォームの活用

学校からの連絡や学習活動の記録(ポートフォリオ)には Classi を、授業の課題提出や先生からのアドバイスには Google Classroom、ManageBac など、学習管理支援システムを利用しています。反転学習や自主学習のツールとして、スタディサプリも活用し、個々の学習状況にあわせて、課題や小テストを配信しています。





# 千代田国際中学校

https://chiyoda.ed.jp/chiyoda\_inter/ 〒102-0081 東京都千代田区四番町 11 番地  
☎ 03-3263-6551 (代)



## 建学の精神

- 知** 観知をふかく貯えて、強く正しく人の世を生きぬきます。
- 情** 温情をゆたかにして、やさしくなごやかに人の世を生きぬきます。
- 実** 真実を求めて、落ち着いて誠実に人の世を生きぬきます。
- 健康** 健康に留意して、明るく楽しく人の世を生きぬきます。
- 謙虚** たかぶりや独善を避けて、偉大な教えを仰ぎながら謙虚に人の世を生きぬきます。

## 教育方針

### 「わたしたちが大切にしている6つの価値観」

#### Expression

ためらわずに意見を言おう。

#### Purpose

「なんのために？」を見つけよう。

#### Challenge

安心して、失敗しよう。

#### Diversity

ちがいを知り、自分を知ろう。

#### Self-Management

自ら立ち、自らを律しよう。

#### GrowthMindset

柔軟に変化を続けよう。

## 校長挨拶

### 自らの人生に、オーナーシップを持とう

世界はいま、大きな変換点にあります。テクノロジーが大幅に進化し、それに合わせてグローバル化も急速な勢いで進んでいます。時代の変化に合わせて、生活・仕事・学習の仕方を考え直す時が来たと感じている人も多いかもしれません。“誰も答えを知らない時代への突入”。このような困難な時代には「自分がこの世界をなんとかしよう」という強い気持ちが必要です。この先、積極的に立ち向かう心を持っている人にとっては、やりがいのある、冒険に満ちた人生が待ち受けている時代とも言えるでしょう。

私たちの学校で大切にしているのは、何事も「他人事にならない」精神。その基礎になるのが「Challenge Change Contribute」の3つの考え方です。まずはChallenge。失敗を恐れずに挑戦し、フィードバックをたくさんもらうこと。正解のない時代だからこそ、あきらめることなく何度も小さな挑戦を続けることで人は成長していきます。次にChange。変化に対して常に柔軟で、前向きでいること。変化する世の中でも、しっかりした自分の人生の哲学(Who you are.)を持てる人であって欲しい。それを中心に、柔軟に思考を転換できる生徒を育てたいと思っています。最後にContribute。小さなことでもいいので、自分の身の周りの社会に対して貢献できる意識を持つ。その積み重ねこそが、世界を大きく変えていくということを学んで欲しいと思います。

学祖 島地黙雷は、個性を大切に互いを認め合うことで、共に生きるという“心の教育”を行い、明治期に国際理解教育にも尽力してきた人でした。本校の礎を築いてきた人たちの思いを軸に、世界をリードし、変えていく「勇者」を育てていきたいと考えています。



千代田国際中学校 校長 日野田 直彦

## 千代田国際中学校の学び

### CHIPS (Chiyoda International Purpose Spiral)

#### SBL

(Subject Based Learning) 各科目の知識や技能を学ぶ、講義型の授業。他の活動を支える基礎基盤となる。

#### 国際教育

世界が抱える問題や課題に対して、語学力だけでなく、主体性を持って挑むため、ためらうことなく自分の意見を発言できる力も育てていく。

#### 心の教育

テクノロジーが進化した未来社会こそ、人間らしさが重要な意味を持つ。個性を大切に、互いを認め合い、共に生きるという心育てていく。その根幹となる宗教教育を大切に。

#### PBL

(Project Based Learning) 課題解決型の授業。SBLで得た知識を基に、さまざまなプロジェクトに挑戦する。

#### LAP

(Liberal Arts Project) 自分らしさを深める時間。体験型の課外授業に出掛けたり、外部講師から学びを得ることで、視野を広げる。

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1限						LAP (Liberal Arts Project) リベラル アーツ 体験 プロジェクト
2限		SBL (Subject Based Learning) Skill/Knowledge のインプット。 学びの基礎を固めて、土台を形成する。				
3限						
4限						
5限		PBL (Project Based Learning) Skill/Knowledge のアウトプット。 使うことで知識をアクティベートする。				
6限						

**「守破離」**  
千代田国際中学校は、様々な教育場面で守破離を繰り返し、世界に貢献する真のリーダーを育てます。

**破** 探究による掘り下げ  
Research & Inquiry

**守** 基本フレームの習得  
Basic Knowledge

**離** 自分らしさの追求  
Own Philosophy





# 武蔵野大学附属幼稚園

<https://kg.musashino-u.ac.jp/>

〒202-8585 東京都西東京市新町一丁目1番20号

☎042-468-3169・3170



## 教育目標

- 仏の心を身につけた子どもに
- 自主的な生活のできる子どもに
- 健康なからだで明るい子どもに
- 友だちと仲良くできる子どもに
- 豊かな情操を持った子どもに

## 園長挨拶

仏教精神を基盤に、50年の伝統の上にさらなる飛躍をめざします

本園は昭和42年の開園以来、50有余年にわたり、仏教精神を基調とした保育を掲げ、地域の皆さまに親しまれる幼稚園として歩んでまいりました。近年では毎年100名弱の園児(定員96名)を迎え入れておりますが、教職員一同、人間形成にとって重要な時期の子どもたちをお預かりしているという強い責任感と緊張感のもと、日夜、保育に精励いたしております。

世の中の目まぐるしい変化により、これまでの価値観や常識が大きく揺さぶられることもあります。このような時代であるからこそ、将来を担う子どもたちの教育において、「確かな拠り所」としての宗教的情操教育の重要性が高まっているように感じます。この仏教保育という最大の特色のほかに、本園では10万㎡の広大なキャンパスの一角を占めるといふ恵まれた自然環境を活かし、また、大学附属の幼稚園として幼児教育の最先端の研究成果を取り入れるなど、質の高い保育を目指して最大限の努力を続けております。

今後とも倍旧のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



武蔵野大学附属幼稚園 園長 石上 和敬

# 武蔵野大学附属慈光保育園

[https://www.musashino-u.ac.jp/guide/musashino-u/musashino\\_nursery.html](https://www.musashino-u.ac.jp/guide/musashino-u/musashino_nursery.html)

〒202-8585 東京都西東京市新町一丁目1番20号

☎042-468-3169 (武蔵野大学 中高幼保事務部 武蔵野幼保事務課)



2017年4月に、教職員の多様な働き方に柔軟に応えるため、武蔵野キャンパス内に武蔵野大学附属慈光保育園を開設しました。定員の一部を地域の住民が利用する「地域枠」とし、地元地域への貢献を目指しています。また、本園は緑豊かな武蔵野キャンパスの自然環境を活かし、敷地内で四季折々の草花を摘んだり、虫を追ったりと、恵まれた環境の中で、園児たちは散歩を楽しんでいます。仏教精神に基づいた「たっぷり遊んでこそ心豊かに成長できる」という考えのもとに、集団生活を通して様々な体験ができるように保育者が関わり、万物の恵みに感謝し、手を合わせる心やさしい子どもを育てていきます。



# 武蔵野大学附属有明こども園

<https://ak.musashino-u.ac.jp/>

〒135-0063 東京都江東区有明二丁目1番4号

☎03-6899-2060



## 教育理念

《響き合う保育》

一人ひとりの個性はさまざま。

それぞれが“遊び込む”ことを通して素敵な音色を奏で、それが重なり響き合い、世界のしあわせを願うハーモニーとなるように、子どももおとなも共に感じ合い、育ちあう保育を目指します。

思う存分遊び込み、生きる力を身につける

子どもにとって大切なことは「遊び込む」ことです。

自ら遊び込むことで、ものの不思議さに気づき、好奇心・探究心を育んでいきます。また、工夫して遊ぶ楽しさや達成感を味わうことが自信につながり、“生きる力”の根源でもある自己肯定感をもつことができます。

保育者や友だちと安心して過ごす中で、思う存分遊び込み、“生きる力”を身につけていきます。

本物に触れ、豊かな感性を育てる

武蔵野大学と連携して、学内外の各分野の専門家による“わくわくプログラム”で本物に触れる体験をして、豊かな感性を育てていきます。

子育て支援一時保育室や未就園児親子対象のイベント、園庭開放、育児相談など、地域との交流を大切に、開かれたこども園です。

仏の心を大切に

本園は浄土真宗本願寺派のこども園です。

自然に触れ、また子ども同士がふれあい、生活する中で、生命の尊さに気付き、万物の恵みに感謝して手を合わせる、心優しい子どもを育てていきます。

## 園長挨拶

教育理念は「響きあう保育」

有明こども園は、幼稚園と保育園の両方の機能を併せもち、地域の子育て支援も行う「幼保連携型認定こども園」です。令和2年の設立に当たり掲げた教育理念は、左のように「響き合う保育」です。その「響き合う保育」を具現化するために「なかまとなかま・発見と感動・未知の世界と・こころとからだ・いのちのちのち」の五つの響き合いを教育目標としました。子どもと子ども、子どもたちと保育者、保護者や地域の皆様と、響き合いを広げることで、一人ひとりの子どもの個性や力を存分に発揮できる教育・保育を目指していきます。



武蔵野大学附属有明こども園 園長 井土 満





武蔵野大学大学院

研究科	専攻	課程	収容定員	学生数	
文学研究科	日本文学専攻	修士課程	14	10 (3)	
		博士後期課程	6	1 (0)	
言語文化研究科	言語文化専攻	言語文化コース ビジネス日本語コース	修士課程	110	33 (28)
			博士後期課程	6	4 (3)
		修士課程	20	6 (1)	
法学研究科	ビジネス法務専攻	修士課程	20	6 (1)	
		博士後期課程	9	5 (1)	
政治経済学研究科	政治経済学専攻	修士課程	20	3 (2)	
		博士後期課程	9	0 (0)	
経営学研究科	会計学専攻	修士課程	20	18 (3)	
データサイエンス研究科	データサイエンス専攻	修士課程	20	15 (6)	
		博士後期課程	6	6 (1)	
人間社会研究科	人間学専攻	人間行動学コース 臨床心理学コース 言語聴覚コース	修士課程	2 (2)	
		45 (0)			
		5 (2)			
		博士後期課程	9	8 (0)	
	実践福祉学専攻	修士課程	14	4 (0)	
仏教学研究科	仏教学専攻	修士課程	10	2 (0)	
		博士後期課程	6	3 (0)	
工学研究科	数理工学専攻	修士課程	30	11 (0)	
		博士後期課程	6	0 (0)	
	建築デザイン専攻	修士課程	30	12 (0)	
環境学研究科	環境マネジメント専攻	修士課程	20	7 (5)	
		博士後期課程	6	3 (0)	
教育学研究科	教育学専攻	修士課程	20	15 (8)	
		博士後期課程	10	2 (0)	
薬学研究科	薬科学専攻	修士課程	15	6 (0)	
		博士後期課程	15	6 (0)	
看護学研究科	看護学専攻	修士課程	20	10 (0)	
		博士後期課程	9	10 (0)	
		修士課程	418	231 (91)	
大学院 計		博士後期課程	87	46 (5)	
	計		505	277 (96)	

武蔵野大学

学部	学科	収容定員	学生数
文学部	日本文学文化学科	835	822 (35)
グローバル学部	グローバルコミュニケーション学科	666	536 (93)
	日本語コミュニケーション学科	330	308 (141)
	グローバルビジネス学科	234	217 (99)
法学部	法律学科	769	738 (31)
	政治学科	409	398 (9)
経済学部	経済学科	709	732 (50)
	経営学科*1	—	4 (0)
	会計ガバナンス学科*1	—	—
経営学部	経営学科	889	885 (74)
	会計ガバナンス学科	360	369 (20)
アントレプレナーシップ学部	アントレプレナーシップ学科	180	178 (6)
データサイエンス学部	データサイエンス学科	340	348 (22)
政治経済学部	政治経済学科*2	—	—
人間科学部	人間科学科	866	908 (69)
	社会福祉学科	604	542 (32)
工学部	サステナビリティ学科	70	80 (7)
	環境システム学科*3	210	210 (23)
	数理工学科	240	236 (13)
	建築デザイン学科	280	294 (11)
教育学部	教育学科	480	463 (0)
	幼児教育学科*4	400	397 (0)
薬学部	薬学科	915	828 (0)
看護学部	看護学科	520	493 (0)
大学 計		10,306	9,986 (735)

注：( )内は留学生数で内数 / ※1：2019年度より経営学部経営学科、会計ガバナンス学科へ改組、現在募集停止 / ※2：2014年度より法学部法律学科、法学部政治学科、経済学部経済学科へ改組、現在募集停止 / ※3：2023年度より工学部サステナビリティ学科へ改組、現在募集停止 / ※4：2020年度よりこども発達学科から名称変更

武蔵野大学通信教育部

研究科・学部	学科・専攻・課程	収容定員	学生数		
武蔵野大学大学院 通信教育部	人間社会研究科	人間学専攻 実践福祉学専攻	修士課程 修士課程	120 20	219 25
	仏教学研究科	仏教学専攻	修士課程	40	61
	環境学研究科	環境マネジメント専攻	修士課程	20	37
武蔵野大学通信教育部	人間科学部	人間科学科	心理学専攻 仏教学専攻 社会福祉専攻	2,400	3,036
	教育学部	教育学科			
通信教育部 計					
				2,827	3,532

武蔵野大学専攻科

課程	収容定員	学生数
言語聴覚士養成課程	60	17
専攻科 計	60	17

武蔵野大学別科

課程	学生数
日本語教育課程	129
介護福祉士養成課程	7
別科 計	136

武蔵野大学中学校・高等学校

学年	コース	人数
1年		176
2年		181
3年		162
中学校 計		519
1年	ハイグレード	57
	PBL インターナショナル	76
	本科	269
合計		402
2年	ハイグレード	58
	PBL インターナショナル	52
	本科	209
合計		319
3年	ハイグレード	46
	PBL インターナショナル	12
	本科	156
合計		214
高等学校 計		935

武蔵野大学附属千代田高等学院

学年	コース	人数
1年	選抜探究コース	66
	附属進学コース	70
合計		136
2年	選抜探究コース	31
	附属進学コース	34
合計		65
3年	選抜探究コース	58
	附属進学コース	104
合計		162
高等学院 計		363

千代田国際中学校

学年	人数
1年	99
2年	72
中学校 計	171



武蔵野大学附属幼稚園

学年	人数
年少	79
年中	79
年長	67
幼稚園 計	225



武蔵野大学附属慈光保育園

学年	人数
1歳児	6
2歳児	6
保育園 計	12

武蔵野大学附属有明こども園

区分	人数
0歳児	9
1歳児	15
2歳児	16
3歳児	67
4歳児	55
5歳児	77
こども園 計	239

教職員数

2023年5月1日現在

	教職員	法人	大学									計
			武蔵野大学 高等学校	武蔵野大学 中学校	武蔵野大学附属 千代田高等学院	千代田国際 中学校	武蔵野大学 附属幼稚園	武蔵野大学 附属有明 こども園	武蔵野大学 附属慈光 保育園			
教員	専任	教授	187 (181)									187 (181)
		准教授	73 (70)									73 (70)
		講師	70 <sup>※2</sup> (67)									70 (67)
		助教	31 (36)									31 (36)
		助手	8 (9)									8 (9)
	非常勤	教諭		48 (49)	23 (18)	33 (35)	10 (5)	13 (12)	31 (30)			158 (149)
		常勤講師		1	1	(1)		4 (5)				6 (6)
		計	369 (363)	49 (49)	24 (18)	33 (36)	10 (5)	17 (17)	31 (30)			533 (518)
		講師 (客員を含む)	797 (820)	22 (24)	8 (15)	15 (28)	7					849 (887)
		委託・派遣	158 (107)	5	3							166 (107)
合計		955 (927)	27 (24)	11 (15)	15 (28)	7					1,015 (994)	
職員	専任	事務職員	8 <sup>※1</sup> (10)	220 <sup>※3</sup> (230)	12 (10)		4 (4)		3 (2)	4 (4)	1 (1)	252 (261)
		実習助手	2 (2)									2 (2)
		特別研究員	2									2
		外国語指導助手			1	1	1	1				4
		保育士									3 (3)	3 (3)
	非常勤	嘱託	39 (37)	5 (7)	(1)	1 (3)		(1)	2 (1)			47 (50)
		計	8 (10)	263 (269)	18 (17)	1 (1)	6 (7)	1	3 (3)	6 (5)	4 (4)	310 (316)
		嘱託		111 (109)	11 (7)		3 (3)	1	20 (14)	22 (28)	9 (9)	177 (170)
		計		111 (109)	11 (7)		3 (3)	1	20 (14)	22 (28)	9 (9)	177 (170)
		合計	8 (10)	374 (378)	29 (24)	1 (1)	9 (10)	2	23 (17)	28 (33)	13 (13)	487 (486)
総計	8 (10)	1,698 (1,668)	105 (97)	36 (34)	57 (74)	19 (5)	40 (34)	59 (63)	13 (13)	2,035 (1,998)		

[注] 1. ( )内は、2022年5月1日現在の数字を示す。 2. 大学に通信教育部教職員を含む。  
 ※ 1. 出向者2名を含む。 ※ 2. 出向受入者4名を含む。 ※ 3. 出向受入者1名を含む。

学校法人武蔵野大学財務状況

2022年度 事業活動収支計算書

(単位：円)

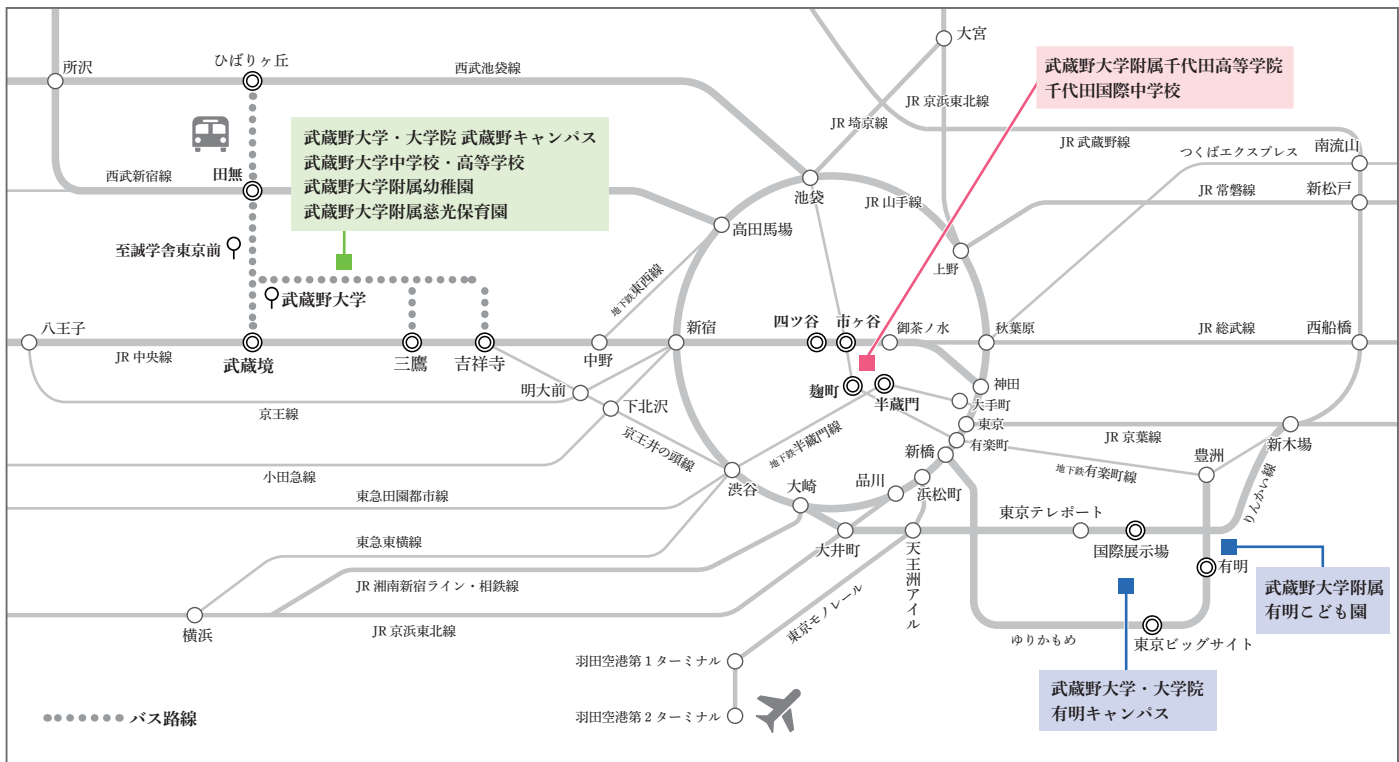
科目		予算	決算	差異	
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金	15,533,467,000	15,559,033,555	△ 25,566,555
		手数料	512,671,000	518,540,326	△ 5,869,326
		寄付金	132,411,000	115,822,768	△ 16,588,232
		経常費等補助金	3,163,460,000	3,323,358,208	△ 159,898,208
		付随事業収入	276,192,000	293,931,001	△ 17,739,001
		雑収入	381,380,000	500,585,994	△ 119,205,994
	教育活動収入計	19,999,581,000	20,311,271,852	△ 311,690,852	
	支出	人件費	8,791,672,000	8,828,727,614	△ 37,055,614
		教育研究経費	8,263,752,000	7,562,549,974	△ 701,202,026
		管理経費	1,460,561,000	1,203,429,068	△ 257,131,932
徴収不能額等		20,410,000	21,048,500	△ 638,500	
教育活動支出計	18,536,395,000	17,615,755,156	△ 920,639,844		
教育活動収支差額	1,463,186,000	2,695,516,696	△ 1,232,330,696		
教育活動外収支	収入	受取利息・配当金	51,137,000	54,508,708	△ 3,371,708
		その他	0	0	0
		教育活動外収入計	51,137,000	54,508,708	△ 3,371,708
	支出	借入金等利息	55,549,000	55,397,285	△ 151,715
		その他	0	0	0
		教育活動外支出計	55,549,000	55,397,285	△ 151,715
教育活動外収支差額	△ 4,412,000	△ 888,577	△ 3,523,423		
経常収支差額	1,458,774,000	2,694,628,119	△ 1,235,854,119		
特別収支	収入	資産売却差額	0	52,226	△ 52,226
		その他	80,511,000	254,492,425	△ 173,981,425
		特別収入計	80,511,000	254,544,651	△ 174,033,651
	支出	資産処分差額	903,000	23,031,404	△ 22,128,404
		その他	0	0	0
		特別支出計	903,000	23,031,404	△ 22,128,404
		特別収支差額	796,000	231,513,247	△ 151,905,247
予備費	848,440,000		△ 848,440,000		
基本金組入前当年度収支差額	1,453,538,000	2,926,141,366	△ 1,472,603,366		
基本金組入額合計	△ 1,946,294,000	△ 1,840,484,042	△ 105,809,958		
当年度収支差額	△ 492,756,000	1,085,657,324	△ 1,578,413,324		
前年度繰越収支差額	△ 8,956,448,000	△ 8,956,447,686	△ 314		
基本金取崩額	2,615,000	318,239,183	△ 315,624,183		
翌年度繰越収支差額	△ 9,446,589,000	△ 7,552,551,179	△ 1,894,037,821		

(参考)

事業活動収入計	20,131,229,000	20,620,325,211	△ 489,096,211
事業活動支出計	18,677,691,000	17,694,183,845	983,507,155







■ 武蔵野大学・大学院 有明キャンパス、武蔵野大学附属有明こども園の交通案内

東京駅	JR 京葉線	新木場駅	りんかい線	東京ビッグサイト駅	徒歩 6分	武蔵野大学・大学院 有明キャンパス
品川駅	JR 山手線	大崎駅	りんかい線	国際展示場駅	徒歩 7分	
羽田空港	東京モノレール	新橋駅	ゆりかもめ	有明駅	徒歩 9分	武蔵野大学附属有明こども園
		天王洲アイル駅	りんかい線			

■ 武蔵野大学・大学院 武蔵野キャンパス、武蔵野大学中学校・高等学校、武蔵野大学附属幼稚園、武蔵野大学附属慈光保育園の交通案内

東京駅	JR 中央・総武線	三鷹駅	北口バス 3 番乗場 10分	武蔵野大学・大学院 武蔵野キャンパス 武蔵野大学中学校・高等学校 武蔵野大学附属幼稚園 武蔵野大学附属慈光保育園
品川駅	JR 山手線	吉祥寺駅	北口バス 1 番乗場 15分	
羽田空港	東京モノレール	武蔵境駅	北口バス 3 番乗場 7分	
池袋駅	西武池袋線	ひばりヶ丘駅	南口バス 1 番乗場 20分	
		田無駅	徒歩 15分 北口バス 5 番乗場 5分	

■ 武蔵野大学附属千代田高等学院、千代田国際中学校の交通案内

東京駅	JR 中央・総武線、丸ノ内線	麹町駅	徒歩 5分	武蔵野大学附属千代田高等学院 千代田国際中学校
品川駅	JR 山手線	半蔵門駅	徒歩 5分	
羽田空港	東京モノレール	市ヶ谷駅	徒歩 7分	
有楽町駅	有楽町線	四ツ谷駅	徒歩 7分	

響き合って、未来へ。

世界の幸せをカタチにする。  
Creating Peace & Happiness for the World



<https://www.musashino-u.ac.jp>

学校法人武蔵野大学 経営企画部 広報課

〒135-8181 東京都江東区有明三丁目3番3号  
Tel. 03-5530-7403

発行日 / 2023年7月